

傍聴・感想

ありがとうございました

3月議会・傍聴者数

2月27日	1名	3月11日	1名
3月3日	6名	3月12日	2名
3月4日	2名	3月16日	1名
3月5日	1名	3月17日	1名
3月9日	1名	3月19日	2名
合 計		18名	

傍聴者の声 (抜粋です)

(敬称略)

- 衆議院投票率低下傾向防止啓発努力もさること乍ら、議会傍聴の人数を増加させるため魅力ある議会内容とすることと、参加呼びかけPRに注力して頂ければ幸いです。(東城)
- 議会の質疑応答は、音響効果の調整結果なのかよく聞きとれた。(東城)

見る・聞く・動く 委員会報告

総務産業常任委員会 ～高齢者社会を見据えた施策を～

1月23日(金)茨城県坂東市が運営する「デマンドタクシー」を視察。「デマンドタクシー」とは、交通空白地を支え、利用される方の予約により自宅から目的地まで移送する乗合交通システムです。

坂東市では広大な市域に集落が散在し公共施設や医療機関が点在。デマンドタクシーの運営で、効率的で利便性の高い地域交通を実現しています。

高齢になっても安心して暮らせるよう、高齢化が進む松伏町にとっても参考にすることが多くありました。



文教民生常任委員会 住民自身の手による認知症カフェの運営と町の学校訪問

1月27日、みさと団地にある認知症カフェを視察しました。こちらの施設は、「ほっとサロン・いきいき」の活動の一つとしてNPO法人が運営しています。

「ほっとサロン・いきいき」は「ふれあい・交流」と「住民の見守り」の二つのコンセプトで住民自らがNPO法人を設立して始めました。これが発展して認知症カフェへと発展してきました。

カフェでは、NPO法人の役員ばかりでなく、元気な住民(高齢者)が、支援ボランティアを担っていて、「住民による住民の見守り」、「地域力の醸成」、「参加と協働の具現化」を実践しています。

3月18日、議会中でしたが各学校を訪問し、川崎市中学生殺人事件を受けての緊急調査を行いました。

【編集後記】 鈴木 勝

今議会中に東日本大震災から4年目を迎えた。マスコミでは当初、仮設住宅の設置を急げと報道し、その後仮設住宅問題が報道される。今では高層の災害復旧住宅での孤独死が報道されている。議員は、その時、その時の必要な事を住民の代表として提案する。しかし、それは将来を見据えたものでなければならない事も感じる。「議会だより」もマスメディアと比べれば小さいが報道紙である。どのように住民に知らせるかの責任を感じる。

議 長 山崎 善弘
 議会広報発行特別委員会
 委員長 高橋 昭男
 副委員長 広沢 文隆
 委 員 佐々木ひろ子
 委 員 鈴木 勝
 委 員 莊子 敏一
 委 員 松岡 高志
 委 員 鈴木 勉